

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金） 事後評価書

平成30年6月29日

計画の名称	いきいきとした賑わいと活力にあふれ、安心で安全なまちづくり							重点配分対象の該当				
計画の期間	平成27年度 ～ 平成29年度（3年間）			交付対象	愛知県豊明市							
計画の目標	第2次豊明市都市マスタープランでは、都市整備の方針として、「快適な居住地域の形成に向けた市街地整備・住環境整備の推進」が位置付けられており、そのなかで「土地区画整理事業の導入による計画的な市街地整備」がうたわれている。本市の市街化区域は、人口密度は比較的高いものの、一部で市街化区域内の農地など低未利用地が残っていることから、良好な市街地環境を形成するための市街化が求められている。そこで、本事業を通して治水対策を行い安全性を高めるとともに、地域住民の意見を踏まえたうえで魅力的な公園を整備することで、地域のニーズに応じた良好な市街地整備を進める。											
計画の成果目標（定量的指標）	○土地区画整理事業のなかで合計1,340㎡の公園・緑地を整備し、地区住民一人あたりの公園・緑地等の面積向上を図る。 ○調整池の築造を通して治水対策の向上を図る。 ○土地区画整理事業によりすべての宅地を接道可能にする。											
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考					
				当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H29末)						
阿野区の地区住民1人あたりの公園・緑地等の面積 【算定式：阿野区における公園・緑地等の面積（㎡）/阿野区の人口（人）】				2.15㎡/人	—	2.41㎡/人						
施行区域における水害の危険が少ない範囲の割合 【算定式：大規模降雨（東海豪雨レベル）で浸水しない区域の面積[当初：実績、最終：想定]（㎡）/施行区域面積（㎡）×100%】				49.80%	—	99%						
宅地の接道率 【算定式：4m以上の道路に接する宅地面積（㎡）/施行区域内の宅地面積（㎡）×100%】				14.20%	—	100%						
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	67百万円	A	57百万円	B	0百万円	C	10百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	14.9%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期		
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期	平成30年6月
豊明市 経済建設部 市街地整備課	公表の方法	豊明市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
A-1	都再区画	一般	豊明市	間接	豊明阿野平地土地区画整理組合	豊明市豊明阿野平地土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=1.6ha	豊明市						57			
合計										57							
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
														0			
合計										0							
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H26	H27	H28	H29	H30				
C-2	都市公園	一般	豊明市	直接	豊明市	平地公園築造事業	公園築造 (1,340㎡)	豊明市						10			
合計										10							
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
C-2	地域住民の憩いの場となる公園を一体的に整備し、本計画の目的である良好な市街地環境形成を図ることができる。																
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H26	H27	H28	H29	H30				
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

- ・ 土地区画整理事業区域内で公園・緑地の整備を実施したことにより、阿野区の地区住民1人あたりの公園・緑地等の面積向上を図ることができた。
- ・ 東海豪雨時には土地区画整理事業区域内の約50%が浸水したが、土地区画整理事業における調整池の整備及び宅地造成により、道路冠水以外の浸水を解消することができた。
- ・ 土地区画整理事業の実施により、宅地の接道率が14.20%から100%となり、市街化区域における低未利用地の解消を実現し、良好な市街地環境を形成することができた。

II 定量的指標の達成状況		最終目標値	実績値	目標値と実績値	備考	
指標①（阿野区の地区住民1人あたりの公園・緑地等面積）阿野区における公園・緑地等の面積（㎡）/阿野区の人口（人）	最終目標値	2.41 ㎡/人		目標値と実績値 に差が出た要因	・ 最終目標値算出における阿野区の人口を4,285人として想定していたが、平成30年6月1日現在の人口実績が4,233人となったため。	
	最終実績値	2.44 ㎡/人（H30.6月）				
	最終目標値	99 %		目標値と実績値 に差が出た要因		
	最終実績値	99 %（H30.6月）				
	指標②（施行区域における水害の危険が少ない範囲の割合）大規模降雨（東海豪雨レベル）で浸水しない区域の面積〔当初：実績、最終：想定〕（㎡）/施行区域面積（㎡）×100%	最終目標値	100 %			目標値と実績値 に差が出た要因
		最終実績値	100 %（H30.6月末）			

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況  
(必要に応じて記述)

3. 特記事項（今後の方針等）

- ・ 今後も引き続き、計画的かつ効果的な土地区画整理事業を通して、快適な居住地域の形成に向けた市街地整備・住環境整備を推進し、賑わいと活力にあふれ安心・安全なまちづくりに寄与していく。

(参考様式3)

(参考図面) 社会資本整備総合交付金

計画の名称	いきいきとした賑わいと活力にあふれ、安心して安全なまちづくり		交付対象	愛知県豊明市
計画の期間	平成27年度 ~ 平成29年度 (3年間)			

